

2013 年度ドクター研究員プロジェクト活動実績報告書

2014 年 3 月 4 日

ふりがな 氏 名	こまき りゆうた 小牧 龍太
(プロジェクト・テーマ名) 新しいモビリティとモビリティ論の時代のメディア研究と映像社会学	
(研究活動実績) ドクター研究員プロジェクトとして本年度中に行った研究活動の成果について記して下さい。 著書・学術雑誌に掲載された論文、および学会・研究会での研究報告、フィールド・ワーク等の記録については必ず記載して下さい。 本プロジェクトではデジタルメディア・モバイルメディア・エスニックメディア研究と Mimi Sheller らが唱える「新しいモビリティ論のパラダイム」との接点を探ることを目的とし、研究会の開催、学会・ワークショップ等への継続的な参加を軸とした活動を行った。大阪市立大学においては、研究協力者（ケイン樹里安・李天能 とともに文学研究科社会学専修前期博士課程 2 年）と協同して『越境する文化』のメディア研究会」と題した研究会を 3 回開催した。また研究代表者は以下の学会・研究会に参加し口頭発表を行うとともに国際的に活躍する研究者との研究交流をもった。 <ul style="list-style-type: none">• Differential Mobilities – Movement and Mediation in Networked Societies 2013 年 5 月 8 日～11 日 Concordia University (カナダ) 発表タイトル: Partially Connected, Partially Protected: Mobility, Mobile Media and Japanese-Brazilian Return Migrants in Japan• カルチュラル・タイフーン 2013 2013 年 7 月 13～14 日 東京経済大学 発表タイトル: A Broken Sonho Lindo (Beautiful Dream): Japanese-Brazilian Return Migrants' Voice on YouTube and an Online Message Board• Reframing the Global Conference/Reframing Area Studies Doctoral Student Seminar 2013 年 9 月 26 日～28 日 Indiana University-Bloomington (米国) 発表タイトル: Differential Mobilities: Digital Media, Mobile Media and Japanese-Brazilian Return Migrants in Japan 研究代表者は 2014 年 3 月に米国フィラデルフィアで開催される Association for Asian Studies 年次総会においても研究成果の口頭発表を行う予定である。	